

第 1 号議案 令和 3 年度事業報告書・計算書類及びその附属明細書
並びに財産目録の承認について
事業報告書
(第 5 4 回)

自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 3 1 日

1. 事業概要

令和 3 年度は、東日本大震災から 11 年が経過して甚大な被害を受けた本県の園芸生産基盤である施設面積は、震災前を上回り、沿岸地域では復旧整備された圃場を活用した大規模露地等の園芸産地における生産の安定化が図られた。また、新たにスタートした宮城県園芸特産振興を展開する「みやぎ園芸特産振興戦略プラン」(令和 3 年度から令和 7 年度)では野菜価格安定対策事業の活用が位置付けられ、当協会として県並びに中央団体の指導のもと生産者の経営安定化に向け、的確な業務の遂行に努めた。

一般青果物価格補填事業への加入促進の取組みとして、県と連携し制度加入への生産者向け案内チラシを各 J A へ配布するとともに、J A および生産法人を訪問し加入促進に努め、新規加入として「ねぎ 53 トン、せり 207 トン」の予約申込が図られた。さらに生産者の事務負担金が減免される県の一般青果物価格安定対策加入促進事業を活用し、予約数量申込の第 2 次募集(令和 4 年 1 月)を行い、さらなる加入促進に努め合計 65 トンの上積みを図った。

一般青果物の補給金の交付状況は、昨年の 2 倍となる 4 千万円の補給金が交付された。特に夏秋期の 7 月・8 月は平年より早い梅雨明けから最盛期となった夏秋きゅうりは荷余り感が続き安値基調となった「きゅうり」に加え「たまねぎ」などが補給金対象となった。秋冬期の 10 月・11 月・12 月は、比較的温暖な気候から野菜全般に潤沢な出回りとなり、安値基調が続き、「葉物類」に加え「きゅうり」中心に昨年を大きく上回る補給金が交付された。業務用需要は、新型コロナウイルス感染の再拡大により、市場相場に少なからず影響したものと考えられ、青果物を取り巻く環境は厳しい状況が続いた。

また、令和 3 年度 4 月から一般青果物の補償基準価格は、令和 2 年度まで国が設定している指定野菜の平均価格から一部品目(13 品目)において全農宮城県本部の共販実績を基準とし、より地域に即した価格設定に変更したことにより、補給金交付対象となった品目が増加し、制度緩和の効果があつた。

2. 青果物の取扱実績について

令和 3 年度の全農宮城県本部の青果物取扱高は、11,657 百万円(前年比 96%)となった。野菜計(菌茸含む)は数量 27,634 トン(前年比 104%)、金額 7,568 百万円(前年比 95%)の取扱実績となった。主力品目のきゅうりが、数量(前年比 104%)は前年を上回ったものの夏秋期の安値基調から価格(前年比 85%)は前年を下回り、野菜の取扱高減少に影響した。

果実は数量 3,868 トン（前年比 92%）、金額 4,089 百万円（前年比 96%）、うちイチゴは、数量 3,224 トン（前年比 97%）、梨は開花期の低温により数量は 302 トン（前年比 62%）と前年を大きく下回り、果実の取扱高減少に影響した。

3. 補給金の交付状況および交付実績について

生産農家の経営安定と再生産の確保等を図るため、卸売市場の販売価格が著しく低迷した品目について「一般青果物価格補償事業」で 19 品目（前年 13 品目）、「指定野菜価格安定対策事業」は 6 品目（前年 3 品目）を対象に補給金交付を行った。「特定野菜等供給産地育成価格差補給事業」2 品目については、交付はなかった。

(1) 一般青果物価格補償事業 … 表 1

- ① 交付額合計は、40,833,665 円（前年比 201%）で、交付予約数量 8,395.9 トン（前年比 91%）に対し、交付対象数量 1,840.8 トン（前年比 188%）の実績となった。
- ② 野菜は、交付額順に「こねぎ」「きゅうり」「たまねぎ」「こまつな」「ちんげんさい」「ねぎ」等が交付対象となり、上位 3 品目で交付額の約 54%を占めた。
- ③ 果実は、平均販売価格が補償基準価格を上回り、交付対象品目はなかった。

(2) 指定野菜価格安定対策事業 … 表 2

- ① 交付額合計は、11,734,000 円（前年 461,000 円）で、交付予約数量 4,819 トン（前年 4,681 トン）に対し、交付対象数量は 694 トン（前年 45 トン）となった。
- ② 対象品目は、交付額順に「夏秋きゅうり」「秋冬ねぎ」「夏秋キャベツ」等が交付対象となった。

(3) 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 … 表 3

申込をしている「しゅんぎく」「ほうれんそう」は、交付はなかった。

表1 一般青果物価格補償事業

対象月	補給金額 (円)		前年比 (%)	対象品目	品目数	交付年月日
	R2年度	R3年度				
4月	0	2,224,148	—	トマト、こまつな、レタス、ブロッコリー、こねぎ、ちんげんさい	6	R3.6.21
5月	394,317	1,435,906	364.2	こねぎ、ブロッコリー、ちんげんさい、だいこん	4	R3.7.21
6月	363,210	998,860	275.0	ズッキーニ、ブロッコリー、たまねぎ	3	R3.8.20
7月	2,972,909	5,555,785	186.9	きゅうり、たまねぎ、えだまめ、ズッキーニ、こねぎ	5	R3.9.21
8月	2,759,580	2,688,735	97.4	たまねぎ、こねぎ、ちんげんさい、えだまめ、えのきたけ	5	R3.10.21
9月	1,375,316	1,029,060	74.8	ちんげんさい、しゅんぎく	2	R3.11.19
10月	0	11,499,987	—	こねぎ、きゅうり、こまつな、ねぎ、トマト、ズッキーニ、ブロッコリー、レタス、ゆきな、ちんげんさい、しゅんぎく	11	R3.12.21
11月	3,196,571	9,825,878	307.4	こねぎ、きゅうり、ねぎ、こまつな、ゆきな、ちんげんさい、ほうれんそう、ブロッコリー、レタス、はくさい、だいこん	11	R4.1.21
12月	4,972,023	5,524,716	111.1	こねぎ、えのきたけ、ちんげんさい、ゆきな、こまつな、ねぎ、はくさい、ほうれんそう、キャベツ、ブロッコリー、なめこ、レタス	12	R4.2.21
1月	139,264	48,550	34.9	ねぎ、はくさい	2	R4.3.18
2月	217,272	2,040	0.9	はくさい	1	R4.4.21
3月	3,973,191	0	—	—	0	—
合計	20,363,653	40,833,665	200.5		19	—

表2-① 指定野菜価格安定対策事業

対象品目	業務区分			補給金交付額 (円)		R3年度 交付年月日
	対象出荷期間	対象市場	産地区分	R2年度	R3年度	
冬春きゅうり	5月～6月	東北	I			
		東北	Ⅲ			
		関東	I			
春キャベツ	5月～6月	東北	I		6,000	R3.8.19
		関東	I			

表 2 - ② 指定野菜価格安定対策事業

業務区分				補給金交付額 (円)		R3 年度 交付年月日
対象品目	対象出荷期 間	対象市場	産地区分	R 2 年度	R 3 年度	
ほうれんそう	4 月～6 月	東北	I			
夏秋きゅうり	7 月～9 月	東北	I			
		関東	I		5,936,000	R3. 11. 26
夏秋トマト	7 月～9 月	東北	I		72,000	R3. 11. 26
夏秋トマト	10 月～11 月	東北	I	107,000	17,000	R4. 1. 27
夏秋キャベツ	7 月～10 月	東北	I		109,000	R3. 12. 23
		関東	I	(辞退) 2,000	94,000	R3. 12. 23
夏秋なす	7 月～9 月	東北	I			
夏秋なす	10 月～11 月	東北	I		261,000	R4. 1. 27
ほうれんそう	7 月～9 月	東北	I		24,000	R3. 11. 26
秋冬ねぎ	10 月～12 月	東北	I		4,724,000	R4. 2. 25
秋冬ねぎ	1 月～3 月	東北	I		448,000	R4. 5. 26
ほうれんそう	10 月～12 月	東北	I	82,000	43,000	R4. 2. 25
ほうれんそう	1 月～3 月	東北	I	272,000		
冬春きゅうり	3 月～4 月	東北	I			
事業計	東北			461,000	5,704,000	
	関東			0	6,030,000	
	計			461,000	11,734,000	

表 3 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

対象品目	対象出荷期間	補給金額 (円)		前年比 (%)	R3 年度 交付年月日
		R 2 年度	R 3 年度		
ほうれんそう (東北)	R3 年 10 月 1 日～12 月 31 日	5,802	0	—	
ほうれんそう (東北)	R4 年 1 月 1 日～ 3 月 31 日	6,087	0	—	
しゅんぎく (東北)	R4 年 1 月 1 日～ 3 月 31 日	28,154	0	—	
しゅんぎく (関東)	R4 年 1 月 1 日～ 3 月 31 日	38,475	0	—	
合計		78,518	0	—	